

# はったつしょう おも とくせい 発達障がいの主な特性について

それぞれの障がいで見られる特性の一例を記載していますが、記載している内容と同じ特性が見られても、必ずしも発達障がいと判断できるものではありません。

## じへい しょう えーえすでー 自閉スペクトラム症：ASD

(自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)とは…

たいじんかんけい しゃかいせい めん そうごてき げんご ひょうじょう  
対人関係、社会性、コミュニケーションの面において、相互的なやりとりを言語、表情、  
みぶ てきせつ もち おこな にがて  
身振りなどを適切に用いながら行うことが苦手です。

たと あいて きも よと ことば し ば ふさわ  
例えば、相手の気持ちをよみ取ったり、たくさんの言葉を知っていてもその場に相応しい  
ことば えら むづか ばあい  
言葉を選ぶことが難しい場合がみられます。

とくてい ことば えら むづか ばあい  
また特定の事への興味・関心が強かったり、こだわりが強く予定の変更が苦手な場合も  
みられます。また感覚面での敏感さや鈍感さも持っていることもあります。

## ちゅういけつじょ たどうしょう えーでーえいちでー 注意欠如・多動症：ADHD

(注意欠陥・多動性障がい)とは…

しゅうちゅう ふちゅうい たどう たべん かんが さき うご  
集中できない(不注意)、じっとしてられない(多動・多弁)、考えるよりも先に動  
しょうどうてき こうどう とくちょう  
く(衝動的な行動)などを特徴としています。

たと ちゅういりよく しゅうちゅうりよく つづ きょうみ たいしょう つぎつぎか わす  
例えば、注意力や集中力が続かなくて、興味の対象が次々変わり、そのせいで忘れ  
もの おお き がまん あと かんが うご  
物も多くなります。気になったら我慢できず、後のことは考えずに動いてしまいます。

じっとしている事が苦手で、歩き回ったり、ずっと身体のどこかを動かしていることが多  
きくば めいじん こま ひと だれ はや き  
いです。でも、気配り名人で、困っている人がいれば誰よりも早く気づくことができます。

がくしゅうしょう  
(学習障がい)とは…

ぜんぱんてき ちてきはったつ おく き はな よ か けいさん すいろん  
全般的な知的発達に遅れはないのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するな  
どのうち、極端に苦手なことがあります。

たと よ にがて ばあい ないよう よ にがて  
例えば、読むことが苦手な場合、内容を読みあげてもらったり、メモをとることが苦手  
な場合、ボイスレコーダーやカメラを使って記録するなど、他の方法を取り入れる工夫を  
することで苦手なことにも対応しやすくなります。

た はったつしょう  
その他の発達障がい

しょうこうぐん  
・トレット症候群

うんどう いじょう おんせい ねんいじょう つづ しょう  
さまざまな運動チックと1つ以上の音声チックが1年以上にわたり続くチック障がいです。

おも お すばや からだ うご はっせい  
チックとは、思わず起こってしまう素早い身体の動きや発声のことをいいます。

きつおん しょう  
・吃音(症)

ことば なめ はな じょうたい おと おと  
言葉がすらすらでない、滑らかに話すことができない状態のことをいい、音をくりかえす、音の  
いちぶ の ことば はっ ととき つ さまざま しょうじょう  
一部が伸びる、言葉を発する時に詰まるなど様々な症状があります。

はったつせいきょうちよううんどうしょう でいーしいでいー  
・発達性協調運動症(DCD)

にちじょうせいかつ きょうちよううんどう こんなん み じょうたい  
日常生活における協調運動に困難さが見られる状態のことをいいます。

きょうちよううんどう め て て あし いじょう うご く あ うんどう たと  
協調運動とは、目と手、手と足など2つ以上の動きを組み合わせた運動のことで、例えば  
じてんしゃ の つか からだ てさき つか かつどう どうさ  
自転車に乗る、はしを使うなど体や手先を使った活動や動作のことをいいます。

はったつしょう まわ み しょう ばあい  
発達障がいは、周りの人から見るとそれが障がいだとはわかりにくい場合も  
おお はなし つう ふちゅうい どりよく た  
多く、「話を通じない」「わがままで」「不注意な人だ」「努力が足りない」など  
おも りかい しょう  
と思われてしまっていて、理解されにくい障がいです。

そのせいで、本人や家族がつらい気持ちに追い込まれてしまうこともありますが、  
はったつしょう まわ ひと りかい きょうりよく ほんにん かん こんなん  
発達障がいは、周りの人の理解や協力があれば、本人が感じる困難さを減らせることがたくさんあります。

ここでは、発達障がいの特徴の一例を示していますが、  
おとな ねんれい とくい  
こどもから大人まで年齢もさまざまで、どんなことが得意  
で、どんなことが苦手で、どのような支援が必要なのか、  
ひと こと  
それぞれの人によって異なります。

